

令和7年12月1日開催
調 査

経済福祉常任委員会資料

○調査事件11 岩部クルーズ運航事業の状況と今後の方針について

産 業 課

調査事件 1 1 岩部クルーズ運航事業の状況と今後の方針について

1 岩部クルーズ事業の状況について

町の岩部クルーズ運航事業は、令和4年度から指定管理者制度を導入し、一般社団法人福島町まちづくり工房（以下「まちづくり工房」という。）が運航主体を担っております。なお、クルーズ船の運航状況については、乗船者による口コミやSNSでの発信、更に雑誌やマスコミなどに多く取り上げられたことにより、乗船予約者数が概ね4,000人前後で推移しております。また、乗船者からは高い評価をいただいております、リピーターも着実に増加しております。

このように事業が好調を維持している背景には、岩部海岸及び青の洞窟の魅力はもとより、運航ガイドによる丁寧な説明や運航方法の工夫など、指定管理者による努力が大きく寄与しているものと考えております。

(1) 近年の岩部クルーズ船運航状況について

令和3年度の本格運航からは、着実に予約数・乗船者数を伸ばしており、乗船料収入の増加が期待されるところでありますが、天候に左右されることが多く、令和7年度の出航率は約41%程度となり、これまでの出航率の平均45%を下回り、近年では最低の出航率となりました。

なお、本格運航となった直近3か年の実績は次のとおりです。

①年度別乗船状況

区 分		R 5	R 6	R 7
営 業 期 間	日	164	171	171
出 航 日 数	日	74	80	70
出 航 率	%	45.1	46.8	40.9
出 航 回 数	回	198	192	135
1 日 平 均 出 航 回 数	回	2.7	2.4	1.9
予 約 数	人	4,405	4,067	3,862
乗 船 人 数	人	2,025	2,031	1,447
1 回 平 均 乗 船 人 数	人	10.2	10.6	10.7
1 日 平 均 乗 船 人 数	人	27.4	25.4	20.7
乗 船 料 収 入	円	5,363,000	5,258,000	3,871,750
1 日 平 均 乗 船 料	円	72,473	65,725	55,311

②月別運航日数及び乗船実績について

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
R 5	日 数	1	8	16	12	17	17	3	74
	乗船者	27	196	391	320	517	487	87	2,025
R 6	日 数	1	7	20	9	19	16	8	80
	乗船者	34	127	371	254	695	366	184	2,031
R 7	日 数	0	8	13	11	16	12	10	70
	乗船者	0	118	203	222	455	242	207	1,447

(2) 地域別乗船者数実績について

近年の乗船者の実績では、町内及び道南の乗船者は減少傾向であり、道外からの乗船者割合が高くなっております。

(単位：人)

区分	町内	近隣	函館	札幌	他道内	道外	合計
R 5	102	8	343	167	159	1,246	2,025
	453 (22.4%)			(8.2%)	(7.9%)	(61.5%)	
R 6	101	25	386	185	145	1,189	2,031
	512 (25.2%)			(9.1%)	(7.2%)	(58.5%)	
R 7	43	3	198	145	80	978	1,447
	244 (16.9%)			(10.0%)	(5.5%)	(67.6%)	

2 岩部クルーズ運航事業に係る指定管理委託料について

令和4年度から民間の活力を最大限に引き出すことを目的として、まちづくり工房を指定管理者に指定しております。

現在の乗船料金は、町の方針で多くの乗船者の確保を最優先とし、1回あたり3,000円の低い料金体系を維持しています。

なお、3か年の収支状況及び令和7年度の決算見込みは次の表のようになっておりますが、まちづくり工房の努力はあるものの、出航率の影響により乗船料収入が大幅に減少したことから、福島町岩部クルーズ事業の管理運営に関する年度協定書第3条第3項の規定に基づき、双方の協議により、指定管理料の補填が必要となります。

(単位：円)

区 分		R 5 決算	R 6 決算	R 7 予算	R 7 決算 見込み
収入	指 定 管 理 料	5,064,000	6,727,700	8,778,000	8,778,000
	乗 船 料 等 収 入	5,627,200	5,544,000	4,711,450	3,961,400
	自 主 事 業 等	678,890	398,740	278,000	310,000
	小 計－①	11,370,090	12,670,440	13,767,450	13,049,400
支出	【経常費用】				
	維持管理費	238,326	795,500	200,000	180,000
	物 販 仕 入	448,643	284,245	190,000	220,000
	水道光熱費	543,228	589,185	529,600	430,000
	修 繕 費	0	73,700	100,000	50,000
	【管理費】				
	人 件 費	5,965,511	6,467,226	8,904,807	8,904,807
	広告宣伝費	1,626,263	1,013,158	500,000	1,910,000
	通 信 費	332,362	367,173	488,510	490,000
	旅費交通費	160,740	823,407	404,800	620,000
	交 際 費	52,141	0	0	0
	研 修 費	0	0	0	90,000
	車両・消耗品費	439,497	792,784	472,000	550,000
	租 税 公 課	28,825	39,752	41,800	41,800
	支払手数料	469,086	412,054	339,560	340,000
	減価償却費	555,662	588,431	590,000	590,000
	雑 費	134,513	100,826	129,400	100,000
	消 費 税	284,858	258,377	611,400	477,000
	小 計－②	11,279,655	12,605,818	13,501,877	14,993,607
差 引①－②				265,573	▲1,944,207

※R7 決算見込みは、10月末現在で福島町まちづくり工房の試算数値である。

上記の乗船料等収入に加え、乗船所に「安全統括管理者」、クルーズ船上に「運航管理者」の資格保持が必須となるため、3名の免許取得に要する経費、広告PR等に必要な広告宣伝費に不足が生じる見込みであることから、関連予算を定例会12月第2回会議へ補正計上を予定しております。

なお、新年度に向けた指定管理料に係る乗船料等収入の考え方については、これまで出航率40%を積算の基礎数値として使用していましたが、1日当たりの出航回数等を考慮したうえで、新たな積算方法を検討してまいります。

3 まちづくり工房の物販（自主事業）状況について

まちづくり工房が自主事業で行っている「岩部クルーズ」関連商品の販売状況及び令和7年度のまちづくり工房全体の物販状況は、次のとおりです。

(単位：個、千円)

区 分	岩部交流センター売店				R 7 全物販状況	
	R 6		R 7			
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
食 品	503	118, 270	413	102, 760	29, 765	9, 293, 308
食 品 以 外	350	228, 120	216	121, 420	3, 577	763, 465
鹿 角 関 連	17	9, 850	5	3, 770	1, 738	1, 453, 594
計	870	356, 240	634	227, 950	35, 080	11, 510, 367

※令和7年度全物販は、「温泉」「ふるさと納税」「WEB ストアー」「事務所」の取扱を含むもので、令和7年10月31日現在の数値。

4 関係条例の改正について

福島町グラスボート管理条例については、令和3年11月5日に開催された当常任委員会において条例改正案を提案しましたが、クルーズ船運航を担うまちづくり工房との料金改定の協議を行った結果、当面は現行の乗船料を維持し、まずは乗船者数の増加を図る対策を最優先としたところです。

しかし、近年の物価高騰に加え、昨年度開催された「北海道応援セミナー大阪会場」でのアンケート調査等の結果、料金は適正な価格帯ではないなどの意見も多くいただき、令和8年度から指定管理者が柔軟に利用料を5,000円以内で設定できるよう条例を改正するものであります。

(福島町グラスボート管理条例)

第1条 福島町グラスボート管理条例(令和元年条例第14号)の一部を次のように改正する。

改正前	改正後																				
<p>(利用料)</p> <p>第9条 利用者は、当該利用に係る料金（以下「利用料」という。）を支払わなければならない。<u>この場合の利用料は、別表1のとおりとする。</u></p> <p>2・3 （略）</p> <p><u>別表 1</u></p> <table><tr><th rowspan="2"><u>運航時間等</u></th><th colspan="2"><u>利用料</u></th></tr><tr><th><u>大人</u></th><th><u>小人</u></th></tr><tr><td><u>基本コース(90分)</u></td><td><u>3,000円</u></td><td><u>1,500円</u></td></tr><tr><td><u>短縮コース(60分)</u></td><td><u>2,500円</u></td><td><u>1,250円</u></td></tr><tr><td><u>短縮コース(30分)</u></td><td><u>2,500円</u></td><td><u>1,250円</u></td></tr><tr><td><u>福島コース</u> <u>(福島漁港～吉岡漁港沖～福島漁港)</u></td><td><u>2,500円</u></td><td><u>1,250円</u></td></tr><tr><td><u>室内でのガイド(荒天時)</u></td><td><u>1,000円</u></td><td><u>500円</u></td></tr></table> <p><u>備考</u></p> <p><u>1 大人は中学生以上とする。</u></p> <p><u>2 小人は小学生以下とする。</u></p>	<u>運航時間等</u>	<u>利用料</u>		<u>大人</u>	<u>小人</u>	<u>基本コース(90分)</u>	<u>3,000円</u>	<u>1,500円</u>	<u>短縮コース(60分)</u>	<u>2,500円</u>	<u>1,250円</u>	<u>短縮コース(30分)</u>	<u>2,500円</u>	<u>1,250円</u>	<u>福島コース</u> <u>(福島漁港～吉岡漁港沖～福島漁港)</u>	<u>2,500円</u>	<u>1,250円</u>	<u>室内でのガイド(荒天時)</u>	<u>1,000円</u>	<u>500円</u>	<p>(利用料)</p> <p>第9条 利用者は、当該利用に係る料金（以下「利用料」という。）を支払わなければならない。<u>ただし、利用料は、1便当たり5,000円(消費税及び地方消費税を含む。)以内とする。</u></p> <p>2・3 （略）</p> <p><u>別表 1 削除</u></p>
<u>運航時間等</u>		<u>利用料</u>																			
	<u>大人</u>	<u>小人</u>																			
<u>基本コース(90分)</u>	<u>3,000円</u>	<u>1,500円</u>																			
<u>短縮コース(60分)</u>	<u>2,500円</u>	<u>1,250円</u>																			
<u>短縮コース(30分)</u>	<u>2,500円</u>	<u>1,250円</u>																			
<u>福島コース</u> <u>(福島漁港～吉岡漁港沖～福島漁港)</u>	<u>2,500円</u>	<u>1,250円</u>																			
<u>室内でのガイド(荒天時)</u>	<u>1,000円</u>	<u>500円</u>																			

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

5 岩部クルーズ事業の今後の方針について

町では、観光の目玉となっている「岩部クルーズ」の継続的な運航を支援するため、まちづくり工房と日々協議を重ねており、人件費の積算など現状に即した予算措置を講じ、運航に支障が生じないよう支援を行ってまいります。

今後は、国の制度改正などに伴いクルーズ船運航に新たな負担が生じることも想定されるため、法改正等の動向を注視し、限られた運航期間で安全に十分配慮した運航ができるよう引き続き支援してまいります。